

平成28年7月4日(月)

東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻
博士課程前期2年の課程
推薦入学特別選抜 (A日程)

「小論文」

問題冊子

試験時間 10:00 ~ 11:30

注意事項

1. 本問題冊子は表紙を含めて全2枚である。(余白を除く。)
2. 本問題冊子は“始め”の合図があるまで、絶対に開かないこと。
3. 試験開始後に、それぞれの答案紙の所定の欄に、
問題番号と受験記号番号を記入すること。
追加の答案紙が必要な場合は、挙手のうえ監督者に申し出ること。
4. 答案紙は必ず提出すること。
なお、問題冊子、草案紙は持ち帰らないこと。
(試験終了時に回収する。)

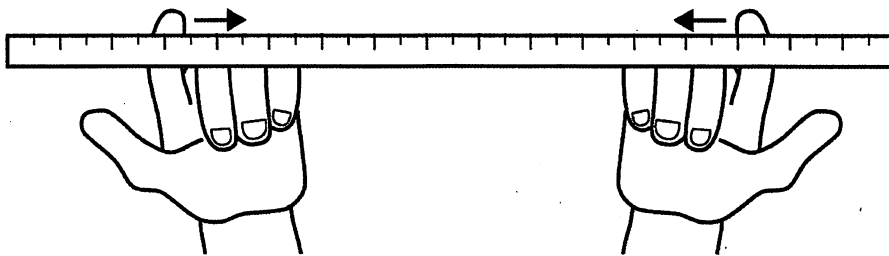
平成29年度

大学院博士課程前期2年の課程 推薦入学特別選抜(A日程)

工学研究科応用物理学専攻 入学試験問題

小論文

- (1) 東日本大震災後、我が国ではすべての原子力発電所が停止していた時期があり、現時点でもほとんどの原子力発電所は停止中である。今後我が国に原子力発電が必要かどうかについて、我が国のエネルギー消費の状況や原子力発電の安全性、原子力以外の電力源など、できるだけ具体的な根拠を挙げながら、あなたの意見を500字程度で述べなさい。
- (2) 図のように左右の人差し指の上に物差しを載せて水平に保ち、2本の指をゆっくりと近づける。このとき、まず一方の指(Aとする)の上を物差しが滑り始め、もう一方の指(Bとする)と物差しとの相対速度はゼロのままである。やがて、物差しはBの上を滑り始め、そのときには物差しはAに対して相対的に静止する。以下、物差しは2本の指の上を交互に滑る。物差しがこのような動きをする理由を500字以内で説明しなさい。



以上